

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通計画に基づく事業) (案)

令和8年 月 日

協議会名:愛媛県地域交通活性化推進事業

評価対象事業名:離島航路運営費等補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
上島町 (魚島～弓削～土生 航路)	魚島～弓削～土生 〈陸上交通との連絡状況〉 ・最寄りのバス停(弓削港務所、 徒歩1分)との乗継時間2分～2時 間8分(平均乗継機関50分)	【前回の評価結果の概要】 運航回数または利用者数が目 標を達成できずB評価、C評価 としている航路があるが、島民 の減少やコロナによる影響が 継続していることもあり、やむを 得ないものである。運航面で は、荒天による運休以外は目 標の運航回数を達成しており、 事業は適切に実施されている と評価できる。 引き続き安全運航・経費節減 に努めながら、利用者増加を 目指す方策等、今後の経営改 善に繋がる取り組みを期待す る。 前回の事業評価を適切に反 映させ、実施された。	A 計画通り事業は適切に実 施された。	B 【運航回数(回)】 目標達成率: 100% 目標: 1,460 実績: 1,453.5 対前年比: 102% 対前々年比: 100% 【上記結果となった理由】 強風や濃霧による欠航が あったため。 【旅客運送(人)】 目標達成率: 117% 目標: 17,210.0 実績: 20,140.5 対前年比: 109% 対前々年比: 108% 【上記結果となった理由】 新型コロナウイルスの影響 により、減少していた観光客、 帰省客が増となったことが主 な要因。	引き続き町事業(住民旅客補 助事業及びサイクリストへの自 転車料金の無料化事業)の実 施により、利用者の増加に努 める。

【1便当たりの利用者数(人)】

目標達成率: 118%

目標: 11.8

実績: 13.9

対前年比: 107%

対前々年比: 107%

【上記結果となった理由】

新型コロナウイルスの影響により、減少していた観光客、帰省客が増となったことが主な要因。

【車両輸送(台)】

目標達成率:

目標:

実績:

対前年比:

対前々年比:

【上記結果となった理由】

【貨物輸送(トン)】

目標達成率: 106%

目標: 6,289

実績: 6,690

対前年比: 133%

対前々年比: 164%

【上記結果となった理由】

新型コロナウイルスの影響により減少していた観光客・帰省客は増加したが、人口減により貨物の持ち込みが減となった。

【手荷物個数(個)】

目標達成率:

目標:

実績:

対前年比:

対前々年比:

【上記結果となった理由】

【小荷物個数(個)】

目標達成率: 74%

目標: 8,388

実績: 6,214

対前年比: 87%

対前々年比: 74%

【上記結果となった理由】

新型コロナウイルスの影響により減少していた、観光客・帰省客は増加したが、人口減により小荷物の持ち込みが減となった。

【収支率】 18%

対前年比: 4%

対前々年比: -1%

シーセブン有限会社 (尾浦 ～ 宮窪 航路)	尾浦～宮窪航路の運営 ※バス利用の場合・・・大島内を循環する路線バスは、宮窪棧橋停留所に発着するが、今治市や広島県側へ向かうバスに乗りたくない場合、一つ先の大島営業所(宮窪)まで移動が必要なうえ、土日祝には弊社の第1・第2便とも、宮窪着時刻からバスの発車時刻まで50～60分程度の時間差がある。	【前回の評価結果の概要】 運航回数または利用者数が目標を達成できずB評価、C評価としている航路があるが、島民の減少やコロナによる影響が継続していることもあり、やむを得ないものである。運航面では、荒天による運休以外は目標の運航回数を達成しており、事業は適切に実施されていると評価できる。 引き続き安全運航・経費節減に努めながら、利用者増加を目指す方策等、今後の経営改善に繋がる取り組みを期待する。 前回の事業評価を適切に反映させ、実施された。	A	事業は適切に運営された	B	【運航回数(回)】 目標達成率: 100% 目標: 2,485 実績: 2,474 対前年比: 101% 対前々年比: 101% 【上記結果となった理由】 目標との差は荒天時の欠航のみ。前年ともほぼ同程度である。 【旅客運送(人)】 目標達成率: 78% 目標: 7,770.5 実績: 6,031.5 対前年比: 88% 対前々年比: 81% 【上記結果となった理由】 コロナによる影響は継続している。昨年度との差は、定期兼利用の学生の減少の影響で、普通券乗船利用人数はほぼ横ばい。 【1便当たりの利用者数(人)】 目標達成率: 78% 目標: 3.1 実績: 2.4 対前年比: 88% 対前々年比: 80% 【上記結果となった理由】 定期券利用者が減少した分の影響が出ている。	
-----------------------------------	--	--	---	-------------	---	---	--

【車両輸送(台)】

目標達成率: 101%

目標: 1,154

実績: 1,163

対前年比: 121%

対前々年比: 100%

【上記結果となった理由】

コロナ過で帰省を見送っていた人が家族で帰省しはじめたこと、魚釣り客が戻りつつある。

●2年に1回の、サイクリングイベント開催時の代替交通運航は、要請があれば協力する。他の地域イベントにも、要請があれば積極的に協力する。●最終便の利用減少により、季節運航や減便について、島民との協議・検討を実施する。●HPを維持現行化。●あらかじめ決まっているドックなどによる代船運航はHPで事前告知する。

【貨物輸送(トン)】

目標達成率:

目標:

実績:

対前年比:

対前々年比:

【上記結果となった理由】

【手荷物個数(個)】

目標達成率: 63%

目標: 450

実績: 284

対前年比: 76%

対前々年比: 68%

【上記結果となった理由】

学生の乗船がなくなったため。バイク利用減。

					【小荷物個数(個)】 目標達成率: 70% 目標: 560 実績: 390 対前年比: 75% 対前々年比: 75% 【上記結果となった理由】 宮窪の商店が閉店したことから荷物のやり取りが減少。 【収支率】 11% 対前年比: 1% 対前々年比: -1%	
津島渡船有限会社 (津島～今治航路)	津島～今治 (陸上交通との連携状況) ・最寄りのバス停(今治港バス亭、 徒歩2～3分)	【前回の評価結果の概要】 運航回数または利用者数が目標を達成できずB評価、C評価としている航路があるが、島民の減少やコロナによる影響が継続していることもあり、やむを得ないものである。運航面では、荒天による運休以外は目標の運航回数を達成しており、事業は適切に実施されていると評価できる。 引き続き安全運航・経費節減に努めながら、利用者増加を目指す方策等、今後の経営改善に繋がる取り組みを期待する。 前回の事業評価を適切に反映させ、実施された。	A	計画通り事業は適切に実施された。	B 【運航回数(回)】 目標達成率: 96% 目標: 365 実績: 351.5 対前年比: 102% 対前々年比: 100% 【上記結果となった理由】 昨年に比べると荒天回数が減ったが、荒天時欠航により目標数値未達。 【旅客運送(人)】 目標達成率: 84% 目標: 401.0	収入面の上昇は見込みにくい ため、現在削減している費用を 継続し、欠損額の圧縮に努め ていきたい。

実績:	336
対前年比:	101%
対前々年比:	94%
【上記結果となった理由】	
荒天による欠航と渡航回数の減少により、目標未達。	
【1便当たりの利用者数(人)】	
目標達成率:	87%
目標:	1.1
実績:	1.0
対前年比:	99%
対前々年比:	94%
【上記結果となった理由】	
便数・旅客運送にほぼ増減がなかった為、目標に対しては87%だが、前年比・前々年比場はほとんど変化なし。	
【車両輸送(台)】	
目標達成率:	
目標:	
実績:	
対前年比:	
対前々年比:	
【上記結果となった理由】	

【貨物輸送(トン)】

目標達成率: 0%

目標: 0.119

実績: 0

対前年比: 0%

対前々年比: 0%

【上記結果となった理由】

貨物の輸送が無くなった為、
実績なし。

【手荷物個数(個)】

目標達成率:

目標:

実績:

対前年比:

対前々年比:

【上記結果となった理由】

【小荷物個数(個)】

目標達成率: 143%

目標: 93

実績: 87

対前年比: 143%

対前々年比: 99%

					【上記結果となった理由】 荒天による運航回数減少はあったが、目標数値は達成。 【収支率】 4% 対前年比： 0% 対前々年比： 0%	
有限会社 くるしま	馬島～波止浜 最寄りバス停・渡し場との乗り継ぎ【陸上交通・せとうちバスとの連携状況】徒歩1分でバス停。待ち時間は、10分～30分程度。	【前回の評価結果の概要】 運航回数または利用者数が目標を達成できずB評価、C評価としている航路があるが、島民の減少やコロナによる影響が継続していることもあり、やむを得ないものである。運航面では、荒天による運休以外は目標の運航回数を達成しており、事業は適切に実施されていると評価できる。 引き続き安全運航・経費節減に努めながら、利用者増加を目指す方策等、今後の経営改善に繋がる取り組みを期待する。 前回の事業評価を適切に反映させ、実施された。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	B 【運航回数(回)】 目標達成率： 98% 目標： 3,638 実績： 3,548 対前年比： 99% 対前々年比： 100% 【上記結果となった理由】 栈橋修繕工事に伴う運休を理由に、目標を下回った。 【旅客運送(人)】 目標達成率： 89% 目標： 19,970.0 実績： 17,788 対前年比： 103% 対前々年比： 96% 【上記結果となった理由】 コロナの影響もあり、利用客が下回り、目標を達成できなかった。	

【1便当たりの利用者数(人)】

目標達成率: 91%

目標: 5.5

実績: 5.0

対前年比: 104%

対前々年比: 95%

【上記結果となった理由】

コロナの影響もあり、利用客が下回り、目標を達成できなかった。

【車両輸送(台)】

目標達成率:

目標:

実績:

対前年比:

対前々年比:

【上記結果となった理由】

令和7年10月から、1日10便を1日8便に減便を実施している。人件費や燃料費などの、経費削減が見込まれる。

【貨物輸送(トン)】

目標達成率: 258%

目標: 1.02

実績: 2.63

対前年比: 453%

対前々年比: 438%

【上記結果となった理由】

修繕工事が発生し、貨物輸送が増え、目標を上回った。

【手荷物個数(個)】

目標達成率: 97%

目標: 120

実績: 116

対前年比: 96%

対前々年比: 94%

【上記結果となった理由】

島民の高齢化に伴い、利用が減少し目標を下回った。

【小荷物個数(個)】

目標達成率: 86%

目標: 3,500

実績: 2,999

対前年比: 79%

対前々年比: 67%

【上記結果となった理由】

馬島のホテルの備品運送が、陸路を利用する回数が増え、目標を下回った。

【収支率】 14%

対前年比: 3%

対前々年比: 6%

今治市 (岡村～今治 航路)	岡村～今治 最寄りバス停 (今治棧橋 徒歩1分)との乗り継ぎ	【前回の評価結果の概要】 運航回数または利用者数が目標を達成できずB評価、C評価としている航路があるが、島民の減少やコロナによる影響が継続していることもあり、やむを得ないものである。運航面では、荒天による運休以外は目標の運航回数を達成しており、事業は適切に実施されていると評価できる。 引き続き安全運航・経費節減に努めながら、利用者増加を目指す方策等、今後の経営改善に繋がる取り組みを期待する。 前回の事業評価を適切に反映させ、実施された。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 【運航回数(回)】 目標達成率: 90% 目標: 2,920 実績: 2,635 対前年比: 94% 対前々年比: 92% 【上記結果となった理由】 荒天による欠航 機関故障による欠航 【旅客運送(人)】 目標達成率: 105% 目標: 43,971.0 実績: 46,056.5 対前年比: 95% 対前々年比: 96% 【上記結果となった理由】 運航回数減(機関故障)による利用者の減 【1便当たりの利用者数(人)】 目標達成率: 116% 目標: 15.1 実績: 17.5 対前年比: 101% 対前々年比: 104% 【上記結果となった理由】 観光客等地域外の利用者の増	引き続き航路の周知を図るとともに、運航費用の節減に努め、より効率的な運航を行う。
---------------------------	---	--	----------------------------	--	---

【車両輸送(台)】

目標達成率: 116%

目標: 9,454

実績: 10,976

対前年比: 104%

対前々年比: 104%

【上記結果となった理由】

観光客等地域外の利用者の増

【貨物輸送(トン)】

目標達成率: 84%

目標: 152

実績: 127

対前年比: 97%

対前々年比: 84%

【上記結果となった理由】

地域の人口減による利用減

【手荷物個数(個)】

目標達成率: 102%

目標: 7,341

実績: 7,520

対前年比: 101%

対前々年比: 102%

【上記結果となった理由】

観光客等地域外の利用者の増

					【小荷物個数(個)】 目標達成率: 目標: 実績: 対前年比: 対前々年比: 【上記結果となった理由】	
					【収支率】 28% 対前年比: -4% 対前々年比: -6%	
新居浜市 (大島～黒島 航路)	大島～黒島 最寄りバス停 黒島(瀬戸内バス) 徒歩2分の乗 り継ぎ	【前回の評価結果の概要】 運航回数または利用者数が目 標を達成できずB評価、C評価 としている航路があるが、島民 の減少やコロナによる影響が 継続していることもあり、やむを 得ないものである。運航面では、 荒天による運休以外は目標の運 航回数を達成しており、事業は 適切に実施されていると評価で きる。 引き続き安全運航・経費節減に 努めながら、利用者増加を目指 す方策等、今後の経営改善に繋 がる取り組みを期待する。 前回の事業評価を適切に反映 させ、実施された。	A	計画通り事業は適切に実施 された。	B 【運航回数(回)】 目標達成率: 99% 目標: 4,820.5 実績: 4,764.0 対前年比: 101% 対前々年比: 87% 【上記結果となった理由】 台風、強風等による欠航により 目標値を下回った。 【旅客運送(人)】 目標達成率: 81% 目標: 71011.0 実績: 57203.5 対前年比: 90% 対前々年比: 79%	強風等による欠航があった。可 能な範囲で19t「くろしま」を運 航することで燃料費の節減に努 めるほか、自主点検・整備等の 強化を図り船舶故障の早期発 見及び経費節減に努める。 大島島民との会合を持ち便数 の見直しについて協議してい く。

【上記結果となった理由】 年々島内人口が減少傾向にあり、また、コロナ後の観光客等も減少したため目標を下回った。
【1便当たりの利用者数(人)】 目標達成率: 82% 目標: 14.7 実績: 12.0 対前年比: 89% 対前々年比: 91% 【上記結果となった理由】 年々島内人口が減少傾向にあり、コロナ後の観光客等も減少したため目標を下回った。
【車両輸送(台)】 目標達成率: 106% 目標: 20,633 実績: 21,957 対前年比: 120% 対前々年比: 110% 【上記結果となった理由】 年々島内人口が減少傾向であるがその一方で、土木建設関係等の車両の利用等により、目標を上回った。

【貨物輸送(トン)】

目標達成率:

目標:

実績:

対前年比:

対前々年比:

【上記結果となった理由】

【手荷物個数(個)】

目標達成率: 64%

目標: 11,253

実績: 7,192

対前年比: 91%

対前々年比: 68%

【上記結果となった理由】

島内人口減少によるもの。

【小荷物個数(個)】

目標達成率: 71%

目標: 298

実績: 212

対前年比: 118%

対前々年比: 85%

【上記結果となった理由】

島内人口減少によるもの。

【収支率】 8%

対前年比: 1%

対前々年比: 0%

有限会社新喜峰 (安居島～北条 航路)	安居島～北条 (陸上交通との連携状況)北条港 着 8:35 最寄りバス停(辻町停留所、徒歩 7分)松山行9:07 乗継時間32分 最寄り駅(JR伊予北条、徒歩10 分) 松山行 8:53 乗継時間18 分 今治行 9:28 乗継時間 53分	【前回の評価結果の概要】 運航回数または利用者数が目 標を達成できずB評価、C評価 としている航路があるが、島民 の減少やコロナによる影響が 継続していることもあり、やむを 得ないものである。運航面で は、荒天による運休以外は目 標の運航回数を達成しており、 事業は適切に実施されている と評価できる。 引き続き安全運航・経費節減 に努めながら、利用者増加を 目指す方策等、今後の経営改 善に繋がる取り組みを期待す る。 前回の事業評価を適切に反 映させ、実施された。	A 計画通り事業は適切に実 施された。	C 【運航回数(回)】 目標達成率: 94% 目標: 442 実績: 417 対前年比: 97% 対前々年比: 97% 【上記結果となった理由】 荒天による欠航があり目標を 下回った。 【旅客運送(人)】 目標達成率: 79% 目標: 2,034.5 実績: 1,602 対前年比: 85% 対前々年比: 82% 【上記結果となった理由】 不漁や常連客の高齢化など や、日帰り便の際に天候が悪 いのが重なったことなどにより 観光客の減少などの為目標を 下回った。 【1便当たりの利用者数(人)】 目標達成率: 84% 目標: 4.6 実績: 3.8 対前年比: 88% 対前々年比: 84% 【上記結果となった理由】 不漁や常連客の高齢化など や、日帰り便の際に天候が悪 いのが重なったことなどにより 観光客の減少などの為目標を 下回った。	住民の利便性に配慮した運航 や島でのイベントに協力し利用 客の増加に協力する
--------------------------------	---	--	--------------------------------	--	---

【車両輸送(台)】

目標達成率:

目標:

実績:

対前年比:

対前々年比:

【上記結果となった理由】

【貨物輸送(トン)】

目標達成率: 61%

目標: 2.090

実績: 1.280

対前年比: 66%

対前々年比: 61%

【上記結果となった理由】

害獣及び高齢による生産規模縮小や収穫減少の為目標を下回った。

【手荷物個数(個)】

目標達成率:

目標:

実績:

対前年比:

対前々年比:

【上記結果となった理由】

					【小荷物個数(個)】 目標達成率: 目標: 実績: 対前年比: 対前々年比: 【上記結果となった理由】 【収支率】 7% 対前年比: 3% 対前々年比: 4%	
中島汽船株式会社 (三津浜～中島 航路)	三津浜～中島 ・最寄りバス停(中島港バス停徒歩1分) ・船の接続時間とバスの発着時間はリンクしております(平均乗車時間10～15分)。	【前回の評価結果の概要】 運航回数または利用者数が目標を達成できずB評価、C評価としている航路があるが、島民の減少やコロナによる影響が継続していることもあり、やむを得ないものである。運航面では、荒天による運休以外は目標の運航回数を達成しており、事業は適切に実施されていると評価できる。 引き続き安全運航・経費節減に努めながら、利用者増加を目指す方策等、今後の経営改善に繋がる取り組みを期待する。 前回の事業評価を適切に反映させ、実施された。	B	深刻な船員不足により、R7.2から高速船の1部便を運休させることとなり、島内外の利用客に大きな影響を与えることとなった。	B 【運航回数(回)】 目標達成率: 83% 目標: 5,858.0 実績: 4,877.5 対前年比: 84% 対前々年比: 84% 【上記結果となった理由】 R7.2からの高速船1部便運休により目標を下回った。 【旅客運送(人)】 目標達成率: 96% 目標: 394,421.0 実績: 380,344.5 対前年比: 96% 対前々年比: 94% 【上記結果となった理由】 人口減、観光客・帰省客等減により目標を下回った。	・市の施策(里島ツーリズム等)と連携して、利用者の増加に努める。 ・船員の確保に努め、現在運休便の運航再開を図る。

【1便当たりの利用者数(人)】

目標達成率: 116%

目標: 67.3

実績: 78.0

対前年比: 114%

対前々年比: 113%

【上記結果となった理由】

高速船1部便の運休による便数減により、1便当たりの利用者数が増となった。

【車両輸送(台)】

目標達成率: 100%

目標: 49,867.0

実績: 49,727.0

対前年比: 100%

対前々年比: 98%

【上記結果となった理由】

人口は減少するものの、公共工事等の車輛の利用でほぼ前年並みとなった。

【貨物輸送(トン)】

目標達成率: 106%

目標: 466.3

実績: 494.0

対前年比: 88%

対前々年比: 106%

【上記結果となった理由】

公共工事の飲料等、商店への輸送により目標を上回った。

					【手荷物個数(個)】 目標達成率: 90% 目標: 12,859 実績: 11,621 対前年比: 96% 対前々年比: 90% 【上記結果となった理由】 人口減、観光客・帰省客等減により目標を下回った。 【小荷物個数(個)】 目標達成率: 84% 目標: 62,336 実績: 52,230 対前年比: 94% 対前々年比: 84% 【上記結果となった理由】 人口減による宅配便等の減少により目標を下回った。 【収支率】 71% 対前年比: -7% 対前々年比: -11%	
青島海運有限会社	【長浜～青島】 陸上交通との連携はありません。	【前回の評価結果の概要】 運航回数または利用者数が目標を達成できずB評価、C評価としている航路があるが、島民の減少やコロナによる影響が継続していることもあり、やむを得ないものである。運航面では、荒天による運休以外は目標の運航回数を達成しており、事業は適切に実施されていると評価できる。 引き続き安全運航・経費節減に努めながら、利用者増加を目指す方策等、今後の経営改善に繋がる取り組みを期待する。	A	計画通り事業は適切に実施された。	B 【運航回数(回)】 目標達成率: 52% 目標: 730 実績: 376 対前年比: 114% 対前々年比: 77% 【上記結果となった理由】 天候に左右されるため。	

前回の事業評価を適切に反映させ、実施された。

【旅客運送(人)】

目標達成率: 88%

目標: 6,576.0

実績: 5,804

対前年比: 106%

対前々年比: 69%

【上記結果となった理由】

観光客が減少傾向にあるため。

【1便当たりの利用者数(人)】

目標達成率: 171%

目標: 9.0

実績: 15.4

対前年比: 93%

対前々年比: 89%

【上記結果となった理由】

観光客数が減少傾向にあるが、天候の影響により便数減の影響が多かったため。

【車両輸送(台)】

目標達成率:

目標:

実績:

対前年比:

対前々年比:

【上記結果となった理由】

船員不足のため、便数を減らすことを検討する。

【貨物輸送(トン)】

目標達成率: 77%

目標: 1.981

実績: 1.525

対前年比: 127% 対前々年比: 76% 【上記結果となった理由】 海産物(ひじき等)収穫量の減少や、工事の有無に左右されるため。
【手荷物個数(個)】 目標達成率: 目標: 0 実績: 0 対前年比: 対前々年比: 【上記結果となった理由】
【小荷物個数(個)】 目標達成率: 46% 目標: 741 実績: 339 対前年比: 94% 対前々年比: 58% 【上記結果となった理由】 観光客が減少傾向にあるため。
【収支率】 15% 対前年比: 1% 対前々年比: -5%

田中輸送有限会社	大島～八幡浜航路 宇和島バス・八幡浜みなと、徒歩3分)との乗り継ぎ時間30分～1時間(平均乗継時間、約40分) ・道の駅「八幡浜みなと」駐車場への日中利用可能(日をまたぐ利用不可)	【前回の評価結果の概要】 運航回数または利用者数が目標を達成できずB評価、C評価としている航路があるが、島民の減少やコロナによる影響が継続していることもあり、やむを得ないものである。運航面では、荒天による運休以外は目標の運航回数を達成しており、事業は適切に実施されていると評価できる。 引き続き安全運航・経費節減に努めながら、利用者増加を目指す方策等、今後の経営改善に繋がる取り組みを期待する。 前回の事業評価を適切に反映させ、実施された。	A 計画通り事業は適切に実施された。	B 【運航回数(回)】 目標達成率: 96% 目標: 1,065.0 実績: 1,023.0 対前年比: 99% 対前々年比: 100% 【上記結果となった理由】 荒天による欠航により目標を下回った。 【旅客運送(人)】 目標達成率: 105% 目標: 17,531.0 実績: 18,392.5 対前年比: 98% 対前々年比: 96% 【上記結果となった理由】 団体客の利用の増加により目標を上回った。 【1便当たりの利用者数(人)】 目標達成率: 109% 目標: 16.5 実績: 18.0 対前年比: 99% 対前々年比: 96% 【上記結果となった理由】 団体客の利用の増加により目標を上回った。
----------	--	--	--------------------	---

【車両輸送(台)】

目標達成率:

目標:

実績:

対前年比:

対前々年比:

【上記結果となった理由】

利用者の動向や生活航路としての役割を十分に配慮したうえで、より効率的な運航を目指しダイヤの見直しなどの改善を検討していきたいと考えております。
併せて、船員の安定的な確保につきましても、就労環境の見直しを含め、引き続き検討を重ねてまいります。

【貨物輸送(トン)】

目標達成率: 77%

目標: 255.30

実績: 196.82

対前年比: 89%

対前々年比: 82%

【上記結果となった理由】

人口減少及び公共工事数の減少により目標を下回った。

【手荷物個数(個)】

目標達成率: 116%

目標: 1,226

実績: 1,419

対前年比: 119%

対前々年比: 116%

【上記結果となった理由】

島外での購買機会の増加により目標を上回った。

					【小荷物個数(個)】 目標達成率: 72% 目標: 2,083 実績: 1,495 対前年比: 96% 対前々年比: 87% 【上記結果となった理由】 人口減少により目標を下回った。 【収支率】 18% 対前年比: 0% 対前々年比: -26%	
盛運汽船株式会社 (日振～宇和島 航路)	日振～宇和島航路の運営 (陸上交通との連携状況) 到着時間でのバス連携はなく、 利用者はタクシーか家族の迎えで ある。(車)	【前回の評価結果の概要】 運航回数または利用者数が目標を達成できずB評価、C評価としている航路があるが、島民の減少やコロナによる影響が継続していることもあり、やむを得ないものである。運航面では、荒天による運休以外は目標の運航回数を達成しており、事業は適切に実施されていると評価できる。 引き続き安全運航・経費節減に努めながら、利用者増加を目指す方策等、今後の経営改善に繋がる取り組みを期待する。 前回の事業評価を適切に反映させ、実施された。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	B 【運航回数(回)】 目標達成率: 94% 目標: 2,431 実績: 2,278 対前年比: 102% 対前々年比: 98% 【上記結果となった理由】 台風や悪天候による欠航や運休。 【旅客運送(人)】 目標達成率: 107% 目標: 35,256.0 実績: 37,704.0 対前年比: 102% 対前々年比: 100% 【上記結果となった理由】 コロナの影響も少なくなり目標を上回った。	

【1便当たりの利用者数(人)】

目標達成率: 114%

目標: 14.5

実績: 16.6

対前年比: 100%

対前々年比: 103%

【上記結果となった理由】

コロナの影響も少なくなり目標を上回った。

【車両輸送(台)】

目標達成率:

目標:

実績:

対前年比:

対前々年比:

【上記結果となった理由】

周遊は増加しているが、島に上陸する人は主に業者や釣り人で利用者増加は厳しい。引き続き経費節減等による効率的な運航に努める。

【貨物輸送(トン)】

目標達成率: 84%

目標: 1383.44

実績: 1158.12

対前年比: 94%

対前々年比: 84%

【上記結果となった理由】

人口減少。

【手荷物個数(個)】

目標達成率:

					目標： 実績： 対前年比： 対前々年比： 【上記結果となった理由】 【小荷物個数(個)】 目標達成率： 目標： 実績： 対前年比： 対前々年比： 【上記結果となった理由】 【収支率】 25% 対前年比： 0% 対前々年比： -16%	
--	--	--	--	--	---	--

【各評価項目の評価基準】

①事業実施の適切性

- A…事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。
- B…事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった。
- C…事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった。

②目標・効果達成状況

- A…事業が計画に位置付けられた目標を達成した。
- B…事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった。
- C…事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和8月1月 日

協議会名：	愛媛県地域交通活性化推進会議
評価対象事業名：	離島航路運営費等補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	離島航路は、本土と離島、離島と離島を結ぶ唯一の交通手段であり、離島で暮らす住民にとっては、通勤、通学、通院をはじめ郵便や信書便、生活必需品などを輸送する生活手段として、本土における国道や主要地方道と同様、島民の生活や産業を支えるために不可欠なものである。 多くの離島を抱える本県においては、唯一の交通手段である離島航路の維持、確保は重要な課題であり、公共交通を担う行政の責務として、市町や離島航路事業者とも協力を行い、離島航路の存続に努めている。 しかしながら、離島航路事業者においては、過疎化や高齢化の進行により利用者が減少傾向にあるなか、生活航路であることから、船舶の修繕や燃料価格の高騰などの運航コストを運賃に転嫁することが難しく、抜本的な経営改善を行うことは困難な状況にあり、その維持には公的支援が必要である。